

令和4年度 一般選抜試験問題【第二次募集】（第二部 商経学科） 解答例

問1 (80点)

【採点のポイント】

- ・筆者の考えを的確に説明できているか。

【解答例】

スクラップ・アンド・ビルドとは、古くなった建物を壊し、新しい建物を建てることである。しかし、この方法では歴史や文化も同時に失われてしまうため、何を残して何を变えていくかを自分たちで考える必要がある。自分たちが残す建物を選択することが、街に対する誇りを醸成することになる。街の将来を自分たちで決めるのだという意味が、自ら街を意識することになり、ひいては愛着も増していくと筆者は考えている。(193文字)

問2 (120点)

【採点のポイント】

- ・自分の考えを文章で表現できているか。
- ・筆者の主張を踏まえているか。

【解答例】

街づくりとしてスクラップ・アンド・ビルド型を進めることは効率的な開発であり、利便性や快適性を高めることができる。しかし、古くなった建物を壊すことは街の特徴を無くすことにもつながる。街の景観は地域の自然や文化、生活、経済活動の現われであり、長い歴史の中で作られたものである。また、観光客は旅行先で日常とは異なった文化に触れることを求めているため、街の景観は重要な観光資源でもある。このような観点から街並みを残す街づくりは地域にとって重要である。

一方、街並みを残すことに偏り過ぎることで新たな開発が進まず、住民の生活環境が改善されなければ街づくりを行う意味がない。また、日本は地震や台風、洪水、火山噴火などの自然災害が多い国であるため、古くなった建物を過度に保全することで家屋の倒壊などの二次災害があってはならない。すなわち、街並みを残す街づくりをするためには、そのメリットとデメリットの両方を考えながら進める必要がある。(409文字)